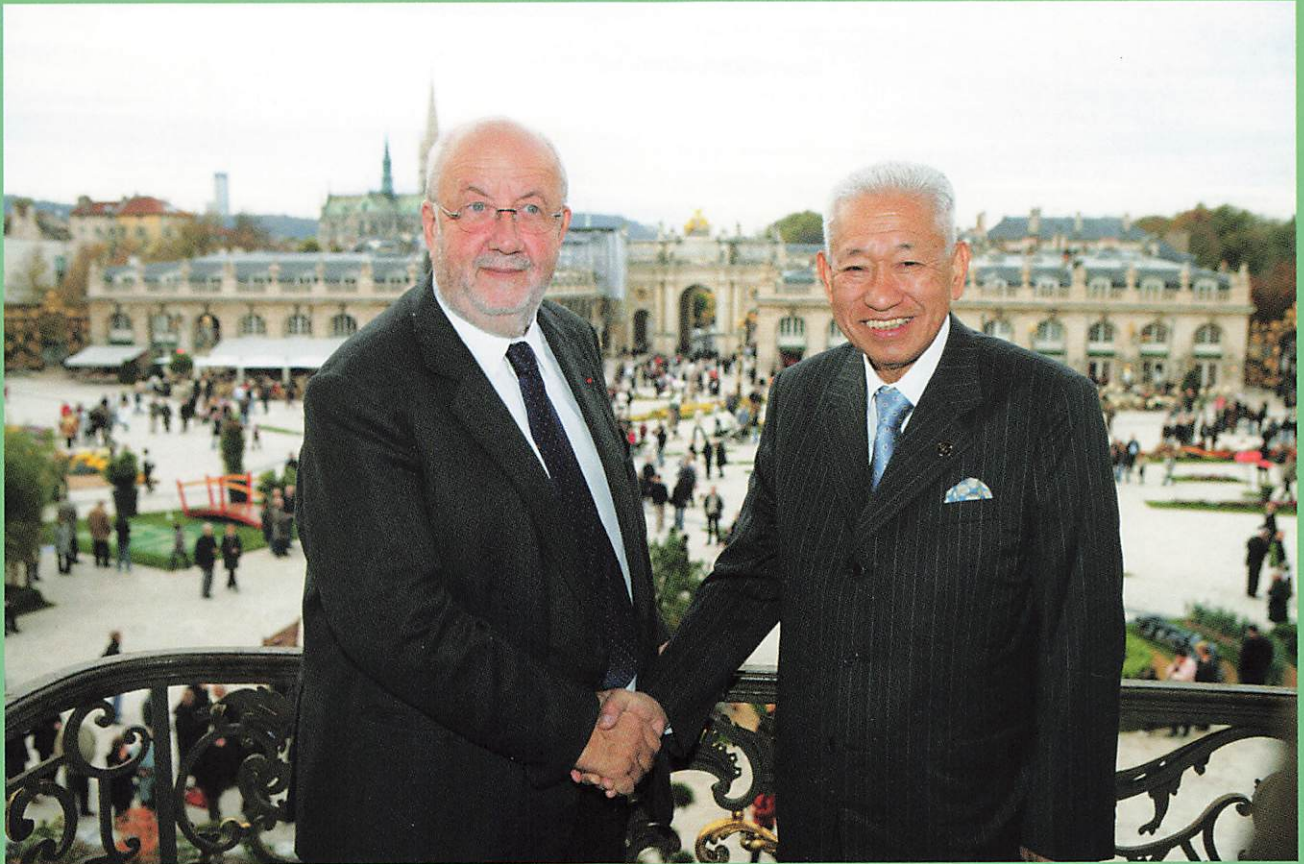


第35号(2008年度)

金沢国際親善ニュース



(photo Ville de Nancy)

晴れやかに握手を交わす
ロッシノー ナンシー市長と山出金沢市長
(10月 ナンシーにて)

金沢市姉妹都市交流委員会

にち ぶつ こうりゅう しゅうねん にち ぶつ じ ち たい こうりゅうかい ぎ さん か
日仏交流150周年・日仏自治体交流会議参加

あら にち ぶつ こうりゅう む
～新たな日仏交流に向けて～

2008年10月20日から31日にかけて山出保金沢市長をはじめとする代表団一行（累計13名）が欧州を訪問し、フランス・ナンシー市で開催された「日仏交流150周年・日仏自治体交流会議」に出席しました。同会議は、日仏双方の自治体が一同に会し地方自治の現状について意見交換を行う初の試みで、金沢市長が日本側推進委員会の委員長を務めました。

また、訪仏にあわせてナンシー市との姉妹都市提携35周年記念行事に参加し、パリでの観光セミナー出席やユネスコ訪問、ベルギー姉妹都市のアントワープ市等を訪問しました。金沢市長一行の主な日程は以下のとおりです。

10月20日(月)

○成田空港からパリ着

10月21日(火)

- 国土交通省・JNTO主催「日仏観光交流年観光振興セミナー」参加
 (於:パリ市立プチ・パレ美術館)
 ・山出市長が金沢の文化や観光を紹介
 ・加賀宝生能「羽衣」披露(金沢能楽会有志)
 ・加賀友禅・金沢箔の実演

10月22日(水)

- ルーブル美術館アンリ・ロワレット館長と会談、金沢21世紀美術館との交流を協議
- パリ第一(ソルボンヌ)大学修士課程で講義、金沢市の文化施策を説明

10月23日(木)

- ベルギー姉妹都市アントワープ市訪問、ダニエル・テルモント市長と会談
 ・学生および美術館に関する交流協定調印
 ・歓迎レセプション参加

10月24日(金)～25日(土)

○アントワープ市内視察後、移動

10月26日(日)

○フランス姉妹都市ナンシー市訪問、アンドレ・ロッシノー



- 市長と会談
- 金沢市ナンシー市姉妹提携35周年記念行事(植樹および式典)参加
- 日仏自治体交流会議歓迎ガラ・レセプション参加

10月27日(月)

- 「日仏交流150周年・日仏自治体交流会議(1日目)」参加、日本側推進委員長として日本の地方自治の現状および課題を説明
- 日仏交流150周年・金沢市ナンシー市姉妹都市提携35周年記念能「羽衣」上演(金沢能楽会有志)
- 日仏自治体交流会議ガラ・ディナー出席、金沢市とナンシー市の新たな交流協定書に調印

10月28日(火)

- 「日仏交流150周年・日仏自治体交流会議(2日目)」参加、次回会議開催地を金沢とすることを盛り込んだ共同宣言を採択

10月29日(水)

- パリのユネスコ本部を訪問、松浦晃一郎事務局長に「創造都市ネットワーク」クラフト分野への金沢市登録申請書を提出

10月30日(木)～31日(金)

○パリから成田空港着





バッファロー 【アメリカ合衆国】



ブラウン市長と記念撮影

提携 1962年（昭和37年）

人口 28万人

面積 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

日本庭園造園技師団 訪問

2008年6月20日から25日の間、社団法人石川県造園緑化建設協会の植村草英相談役を団長とする日本庭園造園技師団（3名）をバッファロー市へ派遣しました。

バッファロー市にある広大なデラウェア公園には、1974年に金沢市との友好の証として日本庭園が整備されています。しかし、庭園を維持していくためには豊かな技術と経験が必要であることから、バッファロー市より、金沢市から日本庭園造園技師を派遣し、技術指導をしてほしいとの要請がありました。日本庭園造園技師派遣による交流は2000年にも行われており、今回で2回目の派遣となりました。

滞在中は天候にも恵まれ、派遣団は現地のスタッフと共に日本庭園で作業し、技術の指導を行いました。現地スタッフは大変熱心に取り組み、日本の繊細な庭園技術に感心し、このような機会を得られたことをとても喜んでいました。また、日本庭園の素晴らしさを知ってもらおうと、植村団長による日本庭園における池や島、川、枯山水などの意義についてのはなしを交えながらの講義も行われ、参加したバッファロー市民は興味深く耳を傾けました。



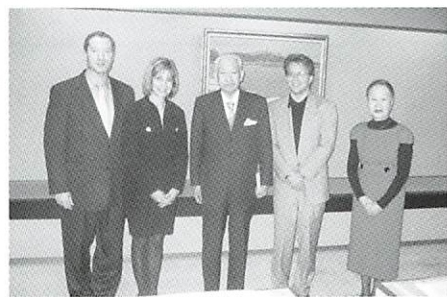
バッファロー市のみなさんと

バッファロー市民との交流会では、ブラウン市長も駆けつけてくれました。

今後、デラウェア公園の日本庭園維持管理に関わる現地のスタッフが日本庭園についてより理解を深めるため、金沢を訪問したいとのはなしもあり、交流がますます広がっていくことが期待できます。

バッファロー市代表団 訪問 バッファロー・フィルハーモニック 音楽監督ジョアン・ファレッタ氏 2度目の金沢公演!

オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演のため、2008年11月24日から12月1日までバッファロー・フィルハーモニック音楽監督ジョアン・ファレッタ氏やバッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長をはじめとするバッファロー市代表団が来沢しました。ジョアン・ファレッタ氏は2006年にも友好親善を図るため来沢し、オーケストラ・アンサンブル金沢との共演を果たしています。11月29日に開かれたオーケストラ・アンサンブル金沢定期公演ではドヴォルザークの「チェコ組曲」を含む5曲を指揮し、会場は埋め尽くした観客からの熱い拍手に包まれました。



バッファロー市代表団の表敬訪問後の記念撮影

イルクーツク【ロシア連邦】



イルクーツク市行政視察代表団表敬後の記念撮影

提携 1967年（昭和42年）

人口 58万人

面積 302km²

バイカル湖（世界遺産）の南にある中部シベリア最大の都市で、イルクーツク州の州都。シベリア鉄道が通過する交通の要衝の地であることや豊かな天然資源を背景に、機械、木材、食品などの産業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

金沢市中学生親善団イルクーツク市派遣



2008年7月28日（月）から8月4日（月）の日程で、横山外茂二金沢市福祉健康局長を団長とする中学生親善団20名をイルクーツク市へ派遣しました。

一行は、ホームステイや学校訪問等で交流を行うとともに、世界遺産バイカル湖や市内視察等とおして、姉妹都市に関する理解も深めました。

なお、同団は、8月4日（月）に帰国する予定でしたが、濃霧による航空便の遅延により、ウラジオストクに3泊した後、同7日（水）に金沢市に戻りました。

〔主な日程〕

- 7/28 出発（ハバロフスク経由）、7/29 学校訪問、
- 7/30 イルクーツク市長表敬訪問、
- 7/31 市内視察、8/1 バイカル湖視察、
- 8/2-3 ホームステイプログラム、
- 8/4 イルクーツクが濃霧のため飛行機12時間遅延。ウラジオストク市へ移動（8/6迄同市滞在）
- 8/7 帰国（3日間遅れ）

イルクーツク姉妹都市公園「ことじ灯籠レプリカ贈呈」

イルクーツク市は、“ヨーロッパ・ハウス”という市の交流施設内に、姉妹都市公園を造成しています。そこに同市の八つの姉妹・友好都市のコーナーを設け、各市のシンボルを設置する予定です。金沢市のシンボルとして「ことじ灯籠」を設置したいとの要望があったことから、台座に見合うよう、



ブロンズで約1/20のサイズのことじ灯籠を製作し航空便にて送付しました。同市によると姉妹都市公園は2009年の夏頃に完成予定とのことです。

イルクーツク市行政視察代表団来沢

2008年10月5日（日）から9日（木）にわたり、バブリコワ副市長を団長とする5名の代表団が来沢し、緑と花の課と公園の設置・管理、交通政策課と交通政策及び福祉健康局と福祉健康政策について意見交換するとともに市内視察等を行いました。

〔行政視察代表団〕5名

- ワレンチーナ・バブリコワ（副市長）
- ゲンナジー・ルースキフ（市議）
- エレナ・チェルカソワ（市議）
- ワレリー・アリシェフ（交通副部長）
- ナジェジダ・マスラコヴァ（通訳）

〔主な日程〕

- 10/5 来沢
- 10/6 表敬訪問、市政懇談（姉妹都市公園視察等）
- 10/7 市内視察（21美、能美、兼六園等）、
- 10/8 市政懇談（交通政策・福祉健康政策）
- 10/9 離沢

イルクーツク市新体操選手団来沢

新体操ウインターフェスタに参加するため、2009年2月5日（木）から同9日（月）の日程で、アーラ・タンキチェヴァイルクーツク市有財産委員会委員長（副市長）を団長とする新体操選手団7名が来沢しました。一行は演技会への参加のほか、十一屋小学校を訪問、児童との交流を深めました。また、金沢21世紀美術館などの市内視察も行いました。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



ポルト・アレグレ市のグレミオ・ジュニアチームと一緒に

提携 1967年（昭和42年）

人口 142万人

面積 470km²

ブラジル南部最大の都市で、リオグランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオデジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしていて、グウィーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

日本人ブラジル移住100周年! 石川県中学生選抜サッカーチーム団 訪問

日本人ブラジル移住100周年である2008年、8月14日～27日の間、石川県中学生選抜サッカーチームがブラジルに滞在し、うち8月17日～20日までポルトアレグレ市を訪問しました。ポルトアレグレ市では、エリゼウ・サ

ントス副市長を表敬訪問するとともに、サンジョゼやグレミオといった強豪プロサッカーチーム・ジュニアチームの少年たちとサッカー試合をとおして交流を図ってきました。

Topics

2008年10月、ジョセ・フォガサ市長が再選を果たしました。ポルト・アレグレ市史上初めての連続再選市長として2009年1月より2期目に入りました。

アントワープ 【ベルギー王国】



テルモント・アントワープ市長と山出金沢市長

提携 1971年（昭和46年）

人口 23万人

面積 156km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「アントワープ・フローラリア」は世界的にも有名。アントワープ港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。1816年創立のアントワープ大学やアントワープ美術館のほか、多くの博物館や旧跡があり、中でも、鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

ダニエル・テルモント市長 初来沢 百万石まつり観覧

2008年6月5日から6月11日の間、2006年12月に就任したダニエル・テルモント市長が就任以来初めて金沢市を訪れ、両市の姉妹提携のきっかけとなった百万石まつりを観覧しました。滞在中は、金沢市の福祉行政のレクチャーも受けるなど、日本の制度にも深い興味を示されていました。また、テルモント市長と山出金沢市長は、滞在中に三度懇談され、美術館や美術工芸大学の分野で今後一層交流を充実させていくことが

確認されました。

山出市長、アントワープ市を訪問

欧州を訪問した山出市長をはじめとする市代表団一行は、2008年10月23日にアントワープ市を訪問しました。

山出市長とテルモント市長はアントワープ市役所で新しい協定書に調印し、美大学生の相互交流および美術館同士の交流を促進することに合意しました。





ナンシー 【フランス共和国】



帰国報告をする中島千晶さん

- 提携** 1973年（昭和48年）
- 人口** 10万人
- 面積** 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。現在は学生数3万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

18人目の交換留学生

1973年の姉妹都市提携以来続いている、ナンシー市と金沢市の交換留学生交換事業。

中島千晶さん（金沢大学フランス語学専攻）は、金沢市からの18人目の留学生として2007年10月から2008年6月まで9ヶ月間の派遣期間を終え帰国しました。

滞在中は国立ナンシー第2大学でフランス語に関する講義等を履修したほかインターンシップに積極的に取り組むなど、自分なりの目標を達成した中島さんは、生き生きとした表情で留学生活で得た成果を山出市長に報告しました。

また、2008年10月からは、ナンシー市からの18人目の留学生オレリー・ムワマさん（ナンシー国立高等美術学校3年生）が金沢美術工芸大学での勉強を始めました。ムワマさんは、大学でのテキスタイルの勉強は



美大で授業を受けるオレリー・ムワマさん

もちろん、日本語や日本文化にも興味を持ち、様々なことを吸収しようと意欲的に取り組んでいます。

仏の名門校ナンシー・エコール・デ・ミンヌ 金沢での企業・大学研修を実施

ナンシー市の高等専門教育機関エコール・デ・ミンヌ校が来訪し、3月22日から27日まで6日間滞在しま

した。

フランスには専門性の高い国立の高等専門教育機関「グラン・ゼコール」があり、同校はフランス国内でも上位クラスを誇る理系のグラン・ゼコールです。今回は情報システム専攻の学生20名と引率者6名が来訪し、株式会社ナナオや株式会社NTT西日本・北陸などの情報関連企業や北陸先端大などの研究機関、21世紀美術館などの文化施設を訪れ研修を実施しました。

各研修先では、企業の先進技術や最先端の研究の紹介など充実した講義が実施され、学生たちは熱心に耳を傾けると同時に、積極的な質疑応答を交わす場面が見られました。

姉妹都市提携35周年である今年度は、ナンシー市と新しい協定書を締結し様々な分野での交流促進を誓い合ったところです。今回の研修は海外の教育機関が金沢で実践的な研修を実施するという初の試みであると同時に、新たな分野で交流を深める絶好の機会となりました。



企業での説明に耳を傾ける学生たち

蘇州【中華人民共和国】



蘇州市政府表敬訪問

提携 1981年(昭和56年)

人口 624万人

面積 8,488km²

約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温かな気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で、「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げ、2007年の中国国内の都市ランキングでもベスト10にランキングされている。

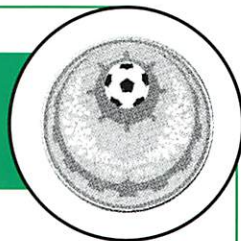
金沢市代表団、「江蘇省国際友好都市交流30周年記念行事」に参加

2008年10月27日から31日まで、森源二・金沢市副市長ほか1名で構成される金沢市代表団が蘇州市及び南京市を訪問しました。蘇州市では、蘇州市政府表敬訪問、市内視察のほか、蘇州市のめざましい産業発展を担う蘇州市国家高新区管理委員会を訪問し、王藹先・蘇州市国家高新区管理委員会副主任よりプレゼンテー

ションを受けました。

その後、蘇州市が所属する江蘇省の省都・南京市で開催された「江蘇省国際友好都市交流30周年記念行事」に蘇州市とともに参加しました。同行事では、「江蘇省国際友好都市環境保護フォーラム」、「江蘇省国際友好都市交流30周年記念大会」に参加するとともに、「江蘇省国際友好都市交流30周年回顧写真展」を視察し、蘇州市との友情を育みました。

大連【中華人民共和国】



金沢市特別名誉市民証贈呈後、山出市長と握手する趙亜平氏(左)

提携 2006年(平成18年)

人口 590万人

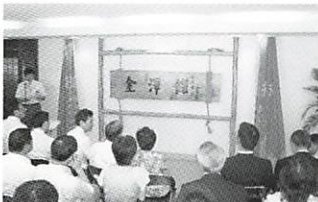
面積 12,570km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、「ロマンの都」「北方の真珠」とも称えられるファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指す今日の大連市は、北東アジアにおける重要な国際航空センターと国際都市の建設に邁進している。

大連大学に「金澤館」開館

2008年8月5日、金沢市を幅広く紹介するため、金沢にまつわる文物等を展示する「金澤館」が大連大学に開館しました。同館の展示品として、金沢市からは加賀獅子頭一式、和傘等を寄贈しました。



また、開館式には金沢市から森源二・金沢市副市長ほか1名が参加しました。

趙亜平氏に金沢市特別名誉市民証贈呈

2008年11月26日に、金沢市役所で趙亜平・大連大学教授(元大連大学学長、元大連市副市長)に、金沢市とくべつめいよし、みんしやう、せうてい、だいいれん、だいがく、とくべつめいよし、みんしやう、せうてい、だいいれん、だいがく、に、金沢市特別名誉市民証を贈呈しました。これは、大連大学に「金澤館」を開設するなど、10年にわたり金沢市と大連市との友好交流活動に尽力された功績を称えたものです。金沢市特別名誉市民証の贈呈者は、22人目、大連市からは初めてとなります。

全州 [大韓民国]



「第7回金沢市韓紙工芸品交流招待展」開会式

提携 2002年（平成14年）

人口 63万人

面積 206km²

「後百濟」の都で、千年余の歴史を持つ古都で全羅北道の道都。国宝の宝南門や韓式家屋の保存地区など歴史遺産を数多く残している。周辺は豊かな穀倉地帯で、韓国の「食と文化の里」として知られ、王朝料理やビビンバップなどの食文化、伝統音楽パンソリに代表される国楽の中心地である。「韓紙」「合竹扇」などの伝統工芸品のほか、国際映画祭・スポーツ大会などを通じ、国際都市としての発展と共に、韓国政府による「伝統文化都市」の指定を目指している。

全州の韓紙工芸品を金沢に紹介

2008年7月10日から7月17日まで、金沢市文化ホールで「第7回金沢市韓紙工芸品交流招待展」が開催されました。この展示会に出展・参加のため、李相七・（社）韓紙文化振興院理事長を団長とする韓紙工芸作家など計16名の訪問団が金沢市を訪れました。

この展示会は、全州市の（社）韓紙文化振興院との間で2002年の姉妹都市提携後、両市の伝統工芸品を紹介しあうため、毎年交互に双方の都市で開催しているもので、今回で7回目となります。

訪問団は滞在中、展示会を準備するほか、金沢市内の伝統工芸作家と交流し、友情を分かち合いました。

コリアフードフェスティバルin全州に参加

2008年11月1日から5日まで、全州市韓屋マウル内のコアアウトレットで開催された「コリアフードフェスティバルin全州」に市国際交流課の職員2名が参加し、金沢市のブースを出展しました。このフェスティバルは「全州ならではの味を世界へ、世界のグルメ達を全州へ」を掲げ、「味」をテーマに「全州 千年の味覚祭り」として去年に初めて開催されたもので、金沢市は去年に引き続き参加し、和菓子や茶を中



コリアフードフェスティバル会場風景

心を金沢の食文化を紹介しました。

韓紙糸製品を初めて紹介

2008年10月15日から26日まで、「おしゃれメッセ2008かなざわごのみ」の特別協賛イベントとして「絹五百、紙千年～韓紙糸製品展示会」が、金沢21世紀美術館市民ギャラリーBで開催され、韓紙糸製品が初めて金沢市で展示されました。また、これにあわせて、金沢・クラフト広坂で販売もされました。

韓紙糸とは、韓紙（和紙のようなもの）を原料に作られた糸で、この韓紙糸で制作された製品（Yシャツ、靴下、ネクタイ、下着等）は、遠赤外線効果、抗菌性等が優れていると言われてい

ます。この展示会に出展するため、李相七・（社）韓紙文化振興院理事長を始めとする参加団13名が金沢市を訪れました。

韓国の伝統工芸品を展示 —2009 千年全州名品 in KANAZAWA—

2009年2月11日から16日まで、「2009 千年全州名品 in KANAZAWA」が、泉野図書館で開催され、千年の歴史を誇る全州からの伝統工芸品の名品の数々が展示されました。これまで、韓紙工芸品の展示などはありましたが、全体的な韓国の伝統工芸品の展示会を全州市が金沢市で開催するのはこれが初めてとなります。

この展示会に参加するため、趙喜淑・全州市伝統文化課伝統文化支援チーム長を団長とする計6名が金沢市を訪れました。本団にはKBSテレビ取材陣2名も同行し、金沢市の伝統工芸文化について取材しました。

Topics

北京五輪メダリスト達を迎えての有終の美 —新体操ウィンターフェスタin KANAZAWAファナル—

毎年世界一流の新体操選手を迎えて繰り広げられてきた新体操演技会、「新体操ウィンターフェスタin KANAZAWA」が、2009年2月8日、金沢市総合体育館において開催され、多くの観客に見守られながらその15年間の歴史に幕を閉じました。



本年は、ベラルーシナショナルチーム（個人・団体）、姉妹都市ロシア・イルクーツク市選手団（個人）、全日本選手団（個人・団体）、そして地元の金沢市選手団が参加しました。

2008年の北京五輪で見事銅メダルを獲得したベラルーシナショナルチームの息をのむような演技や、北京五輪に出場した日本ナショナル選抜団体チーム（フェアリージャパン POLA）の華麗な演技など、ファイナルに相応しいすばらしい演技の数々に会場全体が魅了されました。

なお、演技会に先立ち、海外からの選手団は、金沢市副市長への表敬訪問を行ったほか、市内小学校も訪問し、児童らと交流を通じて、教育現場における異文化交流にも一役買ってくれました。

これまで長い間、「新体操ウィンターフェスタin KANAZAWA」を支えて下さった全ての方々にご心より感謝申し上げます。

主な日程

- 2月6日（金）金沢市副市長表敬訪問
市内小学校訪問
・十一屋小学校（イルクーツク市団）
・千坂小学校（ベラルーシ団）
- 2月7日（土）全日本選手による金沢市選手の演技指導
- 2月8日（日）新体操演技会

韓国全羅南道海南郡庁職員を受入 —自治体職員協力交流事業—



総務省などの支援を受けた自治体職員協力交流研修員として、韓国全羅南道海南郡庁職員の全楊洙さんが、5月18日の来日全体研修受講後、6月19日から3月27日までの約10ヶ月間、金沢市に滞在し、国際交流課に席を置き、国

韓国で開催されたシンポジウムにて

際業務のほか、観光業務や文化施設などで実務研修を受けるとともに、市民や各職員との交流を深めました。

この事業の枠組みでは、過去2003年、2005年及び2007年の各年度に1名ずつ姉妹都市・韓国全州市の職員を受入れており、全さんが4人目の研修員となります。帰国後は、金沢市での経験を活かし、地域発展への貢献と日韓両国の友好を更に強固にするための人的な絆としての役割を果たしてもらうことが期待されています。

「21世紀の隣人たちとともに未来を奏でる “多文化共生のステージin金沢”」

平成元年4月1日に市制100周年を記念して地域の国際化と国際交流の推進を目的に誕生した財団法人金沢国際交流財団は、今年設立20周年を迎えました。



この記念の年度に金沢の地域文化や、世界各地から集まった人々の持つ多様な文化を、多くの市民のみなさんといっしょに肌で感じ、考える機会として、12月14日に金沢市民芸術村パフォーミングスクエアにて記念事業を開催しました。

このステージでは、オーケストラアンサンブル金沢の素晴らしい音楽のほか、金沢で暮らす外国人市民を始めとする多様な“隣人”から寄せられたインタビュー映像によるメッセージが紹介され、これからの金沢の未来を担う子どもたちと一緒に「ピリープ」を合唱しました。

当日は約300名の方々にご来場いただき、大盛況となったこのステージは、準備の段階から多くの市民のみなさんが実行委員会メンバーとして関わっていただき、たくさんの人と人とのつながりがあって生まれたステージでした。

これからも金沢に暮らす市民一人ひとりの思いや出会いを大切に、同じ地域社会に暮らす“多文化の隣人”とともに、地域の特性や資源を生かした国際交流活動を積極的に推進していきます。

「地域コーディネーター」セミナー

同じ地域で暮らす日本人市民と外国人市民の間にたち、言葉や文化の壁を低くし、相互交流を促進しながら、多文化共生の土壌づくりを目指す「地域コーディネーター」セミナーを、石川県留學生交流会館にて10月11日～2月7日（全5回）実施いたしました。金沢市で暮らす外国人市民は年々増えてきていますが、地域社会の中で隣人として日本人市民と出会う機会や交流の場は限られています。市民実行委員会とともに進めてきた今回のセミナーでは、「地域コーディネーター」として異文化の人同士が接する際に必要な態度やスキルなどを学ぶと共に、地域の中で期待される役割などについて話し合いました。来年度は、地域コーディネーターのみなさんが、金沢市内のいくつかの地域で、出会いや交流の場を作っていくながら、互いの価値観や文化を認め合い、支えあう関係作りを目指し活躍します！

国際交流ダイアリー

4～6月

- 4月4日 全州市円光大学女子ソフトボールチーム 来訪
- 4月14日 大連大学訪問団 来訪
- 4月15日 全州放送訪問団 来訪
- 4月21日 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 4月24日 大連市環境視察訪問団 来訪
- 5月8日 駐日ベルギー大使 来訪
- 5月9日 全州大学訪問団 来訪
- 5月29日 日仏自治体交流会議両国合同推進会議（東京）
- 5月30日 ナンシー市・ベルレモン副市長、ダンリ姉妹都市・欧州国際交流担当 受入
- 6月2日 韓国旅行誌「自信満々 世界旅行」訪問団 来訪
- 6月6日 全州市社会福祉協議会の福祉関係者交流研修訪問団 来訪
- 6月6日 韓国禮山郡訪問団 来訪
- 6月20日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶

7～9月

- 7月15日 「日中韓次世代リーダーフォーラム2008」にか
かる参加者 来訪
- 7月18日 内モンゴル自治区・阿拉善左旗人民政府訪問団 来訪
- 7月28日 全州市水墨画団体「研学会」訪問団 来訪
- 7月29日 インドネシア人漁業研修生 来訪
- 8月5日 金沢城オペラ祭2008「蘇州市呉農女子合唱団」
来訪
- 8月8日 日伯交流年（ブラジル移住100周年）石川県中学
生選抜サッカーチーム 出発挨拶
- 9月1日 ナンシー・ロレーヌ仏日協会 来訪
- 9月5日 日伯交流年（ブラジル移住100周年）石川県中学
生選抜サッカーチーム 帰国報告
- 9月19日 金沢市早朝ソフトボール連盟 第9回韓国ソフ
トボール交流友好訪問団 出発挨拶

- 9月22日 全州市（社）韓紙文化振興院訪問団 来訪
- 9月25日 金沢市サッカー協会代表団全州市訪問 出発挨拶
- 9月30日 米国シアトル市エクスタイン中学校を訪問する
大徳中学校国際交流研修派遣団 出発挨拶

10～12月

- 10月3日 金沢市サッカー協会代表団全州市訪問 帰国報
告
- 10月8日 2008地方自治体賞受賞者日本訪問・研修団 来
訪
- 10月9日 全北国立大学医学部訪問団 来訪
- 10月10日 駐日EU大使 来訪
- 10月21日 台湾台中県大雅郷役所団 来訪
- 11月10日 大連市政府訪問団 来訪
- 11月17日 大連外国語学院（大学）訪問団 来訪
- 11月20日 JICA中国青年研修事業研修員訪問団 来訪
- 11月28日 蘇州日報社訪問団 来訪
- 12月5日 大連市人民対外友好協会 受入
- 12月18日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 12月19日 全州市立交響楽団訪問団 来訪

1～3月

- 2月21日 馮台北駐日経済文化代表処代表 来訪
- 2月24日 嘉南農田水利会 来訪
- 2月24日 石川グラフィックデザイン・韓国展 全州市訪
問団 出発挨拶
- 3月13日 ブラジル・ミナス・ジェライス州議員訪問団
来訪
- 3月19日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 3月23日 ハワイ「メレ・フラ・コンサート2009金沢公
演」出演者 来訪

国際交流員の一年

ソフィー・ポックラント(ベルギー)



Dag iedereen! Bonjour tout le monde! 皆さん、こんにちは! 今年国際交流員の3年目になります。帰国する予定はまだです! もう一度再契約しましたので、2010年8月まで宜しくお願いします!

2008年はとても忙しく、面白い経験がたくさんできました。5月は金沢市でベルギー大使を歓迎し、6月の百万石祭には Gent 市長が来沢しました。自分の市長と1週間過ごせる人は少ないと思います! 他のベルギー人も金沢市がきれいな町だと思ってくれれば嬉しいです!

今年、日仏外交関係150周年を祝うとともに、ナンシー・金沢姉妹提携も35周年を迎え、10月末にナンシー市で第一回日仏交流会議が行われました。準備のためにナンシー市長が5月に日本に来られ、10月末金沢市長がナンシー市の会議に参加しました。私はもう一回出張でヨーロッパに行くチャンスももらいました。一番満足したのはやっとナンシー市を訪問できたということ。特にUNESCOに登録されているプラ・スタニスラスにはすごい印象を受けました。

韓国、スペイン、東京、九州、北海道、今年楽しい旅行もたくさんしました! 友達との結婚式、着物撮影会、富士登山と相撲は一生忘れられない日本の経験でした! 2009年も皆さんにとって良い年になりますように!

デイビッド・クレカ(アメリカ)



生涯学習主義の私でも、去年は特に勉強の一年となりました。国際交流員の仕事を通して、自分では『なかなかできている』と思っていた日本語の欠けている部分に気づかされ、その足りない部分を埋めるために一生懸命の毎日でした。

海外に滞在してみれば、日常会話レベルの言語力を身につけるのは時間の問題ですが、自分の思うままに言葉を駆使できるようになるには至難の業です。必ずしも母国で使う言葉や表現が日本語と一致するわけではないので、日本語で伝えようとすると通じなかったり、あるいは会話のペースに追いつけずにタイミングを乱して悩まされるケースが多くあります。結局、表現力は言語力を上回ることはないため、自分の言語知識の範囲内での表現を強いられて、「もっとふさわしい言葉があるのに」「もっと面白い表現ができるのに」と、もどかしい思いをすることが多いのです。私は、自分の思うままに表現ができる言語力を身に付けるために必死に勉強しています。

このような目標を達成するには、ふさわしい仲間が必要です。一人だと闘志はいずれ冷めるでしょう。目標が合わない人と組めば、コースからはずれてしまうに違いありません。鉄のような固い意志はもちろんのことですが、鉄のような固い友情の絆はその意志を支えてくれるはずです。

今年の漢字は『変』に決定されましたが、『変革』は自分自身で始めるものです。今年こそ、新たな目標を立て、全開でやっつけて行きましょう。Yes we can!

金 荷娜(韓国)



アンニョンハセヨ。2008年4月から新しい韓国交流員として勤めている金荷娜です。桜満開の街並みがピンク色になった春に来てから、雪吊りの木に雪が積もり真っ白になった冬の風景に変わり、四季の金沢が堪能できる1年となりました。このように、私の金沢生活は1枚のキャンパスの上に新しい絵を描き出すように始まりました。

私の故郷は、城南市というソウルのすぐ南にある都会なので、静かな街に憧れていた私にとって歴史と伝統があふれる金沢に来ることはとてもラッキーでした。今もまだまだ用水沿いの道はきれいで、日々出会う日本の文化はいつも新しい体験です。

金沢は韓国との交流が活発なので、特に交流員としての役割の大切さを感じています。ひいては、金沢市民にも韓国をもっと知っていただき民間交流が深まっていくように手伝いたいと思っており、仕事やプライベートでたくさんの金沢の方々と触れ合いながら、日本人の遠慮深いところを習い、韓国の人情味あふれるところを発信しています。

キャンパスの絵はまだ半分も描かれていませんが、一筆一筆金沢の姿を描き入れて、絵が完成する頃には日本・金沢と韓国の交流で彩られた活気のある作品ができると思います。

金沢の皆さん、これからも宜しくお願いします。

矢吹鈴木メリッサ(ブラジル)



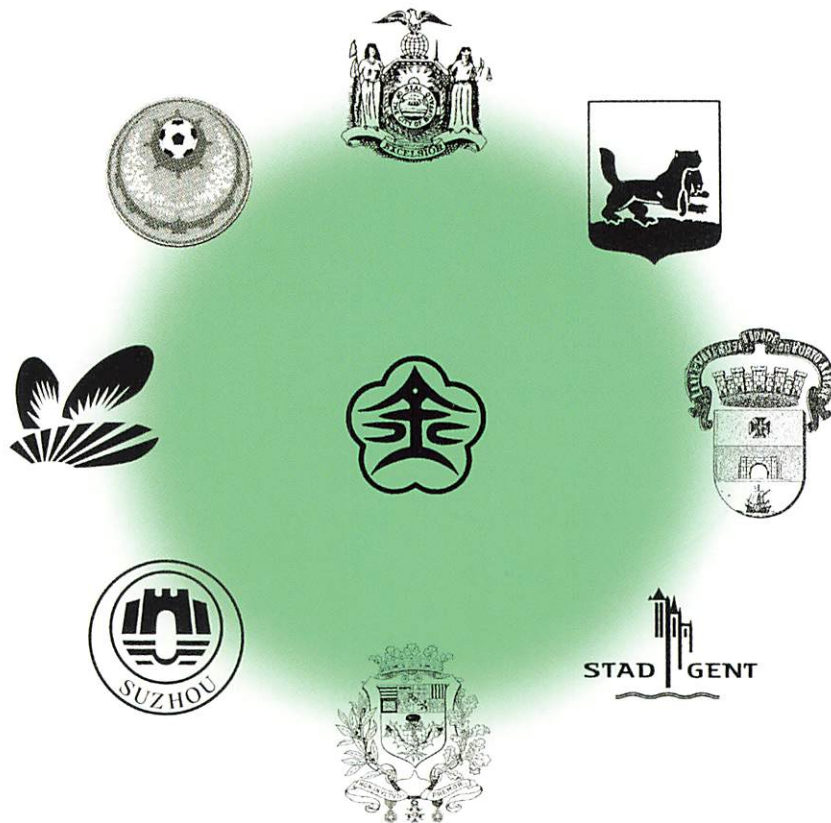
皆さん こんにちは! FELIZ 2009! 皆さんの2008年はどんな年でしたか? 私にとっては金沢最後の年であり、金沢で過ごした3年間を様々な形で振り返り、様々な思い出が蘇ってくる年でした。

2006年の4月の曇った日に来沢し、最初に1人で出かけて買った物が傘でした。これから知らない国での1人暮らしは大丈夫かなという不安やドキドキした気持ちがあったことを思い出します。仕事や初めての日本での一人暮らしには様々な期待や希望がありました。人口1000万人のサンパウロ出身の私には、ゆとりや恵まれた自然と伝統に溢れている金沢で3年も過ごせたことはとても嬉しいことでした。

ブラジルの国際交流員として姉妹都市ポルトアレグレ市とのコミュニケーションの橋渡し役や、料理・言語講座、国際まつりなどを通して自分の生れ育ったブラジルを伝える機会があったことを光栄に思います。そして学校訪問やイベント、仕事をとおした出会いは心に残るものばかりでした。また何よりも3年間職場で暖かく受け入れてくれ、お世話くださった皆さんと多国の友人に心より感謝しています。これから新たな道を歩みますが金沢で過した経験や出会いは心の中にも残っていることでしょう。

また皆さんとお会いする日まで

MUITO OBRIGADA E UM GRANDE ABRAÇO



第35号 (2008年度)

発行 金沢市姉妹都市交流委員会
事務局：金沢市都市政策局文化交流部国際交流課
TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069
E-mail : kokusai@city.kanazawa.lg.jp